

懐良親王を支え続けた武将たち

懐良親王にとって、星野や黒木は心強い味方の地でした。
奥八女の城主たちは南朝方を支えました。



鷹取城跡(星野)

星野氏

星野氏は、南北朝の戦では南朝・懐良親王の力強い味方であり、親王は深い傷を負ったときも星野へ逃れて静養しました。星野は山が険しく自然の砦として外敵の侵入を拒みます。深い山中は山の民でないと案内できなかつたともいわれていました。星野氏は耳納連山に鷹取城という山城を築き、菩提寺は懐良親王ゆかりの大円寺であり、星野谷全域に大きな勢力を誇りました。



猫尾城跡(黒木)

黒木氏

黒木氏は、平安末期に大隅国根占郷(鹿児島県南大隅町)から筑後国黒木郷に移り、その後猫尾城を築き、豊臣秀吉の九州平定のときに廃城になるまでの城主でした。南北朝時代は懐良・良成親王に忠誠を尽くしましたが、猫尾城は北朝方にたびたび攻められ激しい戦いの場となりました。山の上には今も本丸入口に石垣が残っています。



木屋行實の墓(黒木)

木屋行實

木屋行實は、黒木氏の統領であり菊地氏、五條氏らと協力し郷土の若者を率いて戦い懐良親王を支えました。「大保原の戦」の際には、合戦前の小競り合いで行實が先頭で夜襲をかけ、合戦の火蓋が切られたそうです。黒木の木屋邸の裏山、一段高い所に墓があります。「木屋文書」には戦の様子が描写された貴重な史料となっています。

ほかにも立ち寄りたい
ゆかりのスポット

星野「小野神社」



猿田彦、猿田媛!?

道行の神、猿田彦はよく見るけれど、「媛」は珍しい。全国でも見かけることはまれです。

小野神社の前のバス停



小野神社付近には、親王の滞在を示す「内宮」(ないくう)という親王ゆかりの地名が残っています。



懐良親王お手植えのイチヨウ

南北朝の戦がクライマックスを迎えたころ、今川了俊から追われ敗走した親王は高良山へ。瀕死の傷を負った親王は、さらに奥地へ引き、この星野の「小野神社」へ御在所を構えました。天に届くような大イチヨウは懐良親王お手植えとの伝承があります。

黒木「素盞鳴(すさのお)神社」

老舗の酒蔵も楽しみ

大藤の通りには古くから続く酒蔵が立ち並んでいます。毎年春に行われる大藤まつりでは、蔵開きや古酒を貯蔵している矢部線(廃線)跡のトンネルが公開され、試飲もできます。



大正時代の古写真



良成親王お手植えの大藤

奥八女でゆかりの地を歩くなら、黒木の大藤は必見です。良成親王お手植えとも伝えられています。境内を覆う藤の花は見事で、大勢の観光客が見物に訪れます。